



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service

2012-13年度 RI会長／田中作次 RI.D2590ガバナー／露木雄二 横浜旭RC会長／山崎良三

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



2012年10月3日 第2074回例会 VOL. 44 No. 13

- 司会 SAA 田川 富男
- 開会点鐘 会長 山崎 良三
- 斉唱 君が代、奉仕の理想
- S L 安藤 公一

■出席報告

会員数	35名	本日の出席数	26名
本日の出席率	89.66%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

斎藤、千葉、増田

■他クラブ出席者

田川（横浜瀬谷 RC）、増田（東京築地 RC）、
後藤（地区）、千葉、新川（岩沼 RC）

■ゲスト

申 錫澈君（米山奨学生）

■10月誕生記念祝い



- 安藤 達雄会員 10.28
- 新川 尚会員 10.15
- 高梨 昌芳会員 10.7
- 漆原恵利子会員 10.31
- 吉原 則光会員 10.19

■会長報告

先週の体験例会は皆様の協力の御蔭で大変良かったと思います。これから良い方向につながりそうな感触が有りましたので期待をもって前進して行きたいと思います。五十嵐さんの企画、立案が功を奏したと思っています。改めて感謝致します。

今日から松本英二さんが出席されました。少し平均年齢も下がりました。当クラブも一層活性化するものと確信します。一人でも会員増強が出来た事はクラブ運営に大変良い結果をもたらしました。

一方でこの頃領土問題が報道をにぎわしていますが今日は中国のサイバー攻撃の話の話を少ししたいと思います。

コンピューターの専門技能者をハッカーと申しますが、ハッカーという用語には悪い意味がなく悪意からコンピューターに侵入したりシステムを破壊したりする人はクラッカーといいますが、中国人民解放軍傘下のサイバー民兵は800万人と推計されています。

近年日本をはじめ各国の政府機関など執拗なサイバー攻撃を受けていますがこれらの攻

撃の一部は中国発のものであります。5年前の2007年9月に英国王立統合防衛安保研究所アジア安全保障部長から中国の関与が極めて大きいと指摘され、米国の国防総省のコンピューターシステムに対する中国の攻撃数が2007年の44,000件から2008年には10,000件増えて54,000千件、2009年には90,000件に達して3年の間に2倍のスピードで攻撃されています。

米中経済安全保障検討委員会もNASAの衛星2機が中国からのサイバー攻撃を受け一時制御システムを乗っ取られたと公表されています。中国は人民解放軍情報戦争シュミレーションセンターなる部隊を設立し情報戦への関心の高さを示しています。中国は20年以上前からサイバー戦を準備していたという事です。軍事、経済、政治、外交の4分野で利用を進めています。中国軍は米国の弱点がコンピューターネットワークに過度に依存している事だと分析しており、有事の際には電子戦とサイバー戦を有機的組み合わせで米軍を攻撃しようと考えています。

2008年版中国国防白書にサイバー空間を陸、海、空、宇宙に続く第5次元の戦場と明記し全国の7つの軍区に電子戦団なるものを配置しました。不幸にも日本が中国と衝突し戦争状態になったとすれば国内外から一斉に中枢インフラ等に攻撃を仕掛けられる事と思います。一方日本では12年前から情報セキュリティ対策等進める事は進めましたが、日本の重要インフラの防護という研究まで行われておらずサイバー攻撃を戦争という観点から分析する試みは全くなされていなかったのです。他国から重要インフラ等の国の中枢システムへサイバー攻撃を受けた際に、それを迎え撃つのは何処の国でも軍隊であります。今までは日本の自衛隊はその任を与えられていなかったのです。何故かというサイバー攻撃は武力攻撃では無いとされるからです。

通信、金融、交通など日本の中核システムが攻撃を受けて大混乱に陥ったとしてもこんな事で良いのでしょうか。もちろん国も防衛省も危機感をもってサイバー専門部隊へのハッカーの採用を検討していて防衛省は独自に採用コンテストを開く事を始めた様です。

来年度には陸、海、空の統合部隊のサイバー空間防衛隊を新設することになりました。

○地区関係

1) RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会登録対象者追加のご案内

対象者は地区副委員長 新川 尚会員

2) 地区大会記念チャリティーディナーパーティーの再参加依頼のお知らせ

○クラブ関係

1) 理事選挙について

現理事役員の他5代前までのパスト会長を理事候補者氏名委員会に任命します。ちょうど内田敏さんが任に成ります。今後2週間経過した時点で理事候補者指名委員会は理事の選考に入ります。

■幹事報告

1) 修正予算について

理事会の承認をいただきました。

御覧ください。

■災害復興支援委員会 新川 尚

メロン販売について

平成23年3月11日の大震災による大津波によりビニールハウスが流出し、各方面のご支援をいただきまして、このようなメロンが出来上がりました。今後も安全で安心なメロン作りに努力したいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■親睦委員会 後藤 英則

この度神奈川県馬主協会会長田中様のご好意により川崎競馬貴賓室を無料でお借りすることができました。この機会に川崎競馬場貴賓室より、ナイトレースを観戦しませんか？

ご家族、ご友人をお誘い合わせのうえ、ご参加下さい。馬券も買って楽しめます。

貴賓室の関係上、限定20名様になります。先着順にさせていただきます。

日 時 10月19日(金)午後6時～9時

最終レース終了予定 午後8時50分

集合場所 JR川崎駅改札口前 時計台の下
午後6時集合(時間厳守)

参加費 2,000円(当日集金)

* ドリンク、つまみ等はご用意いたします

夕食に関しましては各自でお願いします

詳細は 後藤携帯 090-3313-3010

■親睦委員会

安藤 公一

カナエル様からご手配頂きました、ぶどうのお釣り 5,100 円をニコニコ BOX に寄付致します。

■増強委員会

五十嵐 正

先週の体験例会では、皆様ご協力頂きありがとうございました。当日は 11 名のお客様を迎える事が出来ました。

本日の週報にお客様の声をアンケートとしてまとめてありますのでご覧下さい。お客様 10 名から回答を得ております。

次に、当日会員さん向けのアンケートをご案内させていただきました。全員からの集計はできておりませんが、設問 1 については、今のところ頂いた全員から良かったと回答を頂いております。設問 2 の増強委員会としての今後の取組方として、今後も体験例会の継続との声が今のところ全員からご指示いただいております。又、回数につきましては一年に 2 回程度の意見が多いようです。

これらの結果が直接入会とは望めなくても、クラブの外部支援者の広がりが期待できそうです。単なる名簿のリストではなく、一度はクラブ例会に参加された方は、旭クラブの大切な支援者として広報とも連携し、次年度の増強委員会へも引継ぎまいると思っております。

最後になりますが、今回はチャーターメンバーの二宮会員、安藤会員や吉野会員関口会員といった大先輩の方々が率先して協力して頂いたことにとっても感謝しております。ありがとうございました。

又、影の功労者として、社会員の詩吟の熱演がもっばらの評判でした。辻さんありがとうございました。

■米山記念奨学委員会

内田 敏

米山奨学事業の寄付について協力をお願いをさせていただきます。

例年の通り、10 月は米山月間です。将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となる人材を育てる米山奨学事業に、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

普通寄付 5,000 円

特別寄付 25,000 円 合計 25,000 円

以上が目標です。

■漆原会員より

栗のプレゼント！

**■ニコニコ BOX (会員敬称略)**

山崎 良三／申さん今日の卓話よろしく願います。

田川 富男／申さん、米山卓話よろしく願います。

佐藤 真吾／今日は米山奨学生申君の卓話です。日頃の研究活動とロータリーについて話していただきます。申君、頑張ってください。

黒瀬 一敏／申先生の卓話楽しみです。

シン 先生

安藤 公一／①先週の体験例会良かったです。五十嵐さんお疲れ様でした。②申君の卓話楽しみです。

新川 尚／申さん、今日は卓話宜しく願います。

福村 正／米山奨学生申さん、卓話楽しみです。

安藤 達雄／お誕生祝いをいただきありがとうございます。

市川 慎二／先日は私共の為に素敵な歓迎会を開いて頂き本当にありがとうございました。矢田先生よりご紹介頂き、ロータリークラブに入会できた事、皆様に歓迎して頂いた事、心よりお礼申し上げます。今後ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

吉原 則光／秋深しの感が強い今日の例会。新さんの卓話よろしく願います。楽しみです。

倉本 宏昭／申君ようこそ。卓話よろしく。

■卓話 米山月間に寄せて

米山奨学生 横浜市大院 申 錫澈



1) 研究紹介

研究テーマ：

新規カーボン材の燃料電池電極への応用

本研究では、新規カーボン材であるカーボンナノウォール (Carbon nanowall: CNW) の燃料電池用電極触媒として可能性を提案している。一般に、燃料電池は電極触媒として白金粒子を付着させたカーボンが用いられている。しかし、白金は高価で希少貴金属であるため、実用化に向けて少量の白金で高い触媒活性を示すカーボンが求められている。

カーボンナノウォール (CNW) のミクロな構造は、ナノグラファイトから構成される特異なドメイン構造を持つ。この構造は数多くのドメイン境界といった欠陥をもつため、それらが白金の有効な付着サイトになることが期待されていた。そこで、本研究ではこれらを検証するため、CNW への白金の担持法を開発し、その触媒活性の評価を行った。

結果として、透過型電子顕微鏡を用いた観測で、予想通り数ナノメートルサイズの白金粒子が CNW のドメイン境界に優先的に担持されることを明らかにした。

さらに興味深いことに、電極性能測定を行った結果、これらの白金担持 CNW が極めて高い触媒活性を示すことも観測した。この触媒活性は、市販されている最高性能を示す白金担持カーボンと同程度あるいはそれ以上の活性を示すこともわかった。これは、CNW へ担持されたナノメートルサイズの白金の高分散性と、ドメイン境界に担持された白金の触媒能の向上によると考えられる。この成果は、CNW の白金担体としての可能性を実証したものであり、実用化が大いに期待される。

2) 米山奨学生になってから

はじめに、無事に研究活動を行っていることはロータリークラブの皆さまにサポートして頂いたからであり、大変感謝しております。また、いつも優しく迎えて頂き、非常に嬉しく思っております。

私が米山奨学生になってから変わったことは大きく3つあります。最初は、より研究に打ち込むことができたことです。

実は、今年の5月から研究テーマが変わり、より高い目標に向け、白金を使わない非白金電極開発を行っております。修士2年になってから研究テーマを変えるのには大きな決断が必要でしたが、ロータリークラブの皆さまのお陰で、より大きな目標に挑戦することができ、大変感謝しております。

二つ目は、ロータリークラブの皆さまをはじめ、色々な国籍をもつ留学生と出会い、日本文化はもちろん、多くの国の文化にふれあったことです。皆様と切磋琢磨しながら、この経験を活かし、世界を舞台とする人材になり、活躍場を広げていきたいです。そして、沢山のことにチャレンジしながら、世界平和のために自分ができることを見つけていきたいと考えております。

最後に、大きな夢を抱くことができました。今まではエネルギー分野の研究を通じてエネルギーや環境問題の解決に貢献したいという漠然とした夢をもっておりました。

しかし、ロータリークラブの皆さまが奉仕の精神をもち、世界平和のために様々な活動を行い、その活動が世界に広がっていました。それを見て、自分もぜひ、皆様に恩返しできるように現在取り組んでいることをカタチにしたいと思いました。

まずは、世界一の電池を開発し、世界で発生しているエネルギー紛争をなくしたいです。リーズナブルで性能の高い電池が世界に広がれば、エネルギー紛争がなくなると信じております。さらに、研究以外でも自分ができることを見つけ、実行していきたいです。今後も支えて下さる皆様へのご恩と感謝を忘れず、米山奨学金を受ける者として恥ずかしくないよう、一層精進して参りたいと思います。

■次週の卓話

千葉会員

週報担当 五十嵐 正